



2学期が始まりました！

夏休みが明け、心も体もひと回り成長したこどもたちの元気な姿に、教職員一同大変嬉しく思っております。さて、1学期には生活目標として、「あいさつをしっかりとしよう」「正しい言葉遣いをしよう」を掲げ、振り返りアンケートを実施しました。

「あいさつをしっかりとしよう」という目標については、95%のこどもが「できた」と実感しており、登下校の際や授業の前後など、多くの場面で気持ちのよい声が聞こえていました。

その一方で、「正しい言葉遣いをしよう」という目標に対しては、「できた」が70%、「もう少し」が30%という結果でした。日常会話の中で相手や場面に応じた言葉遣いを常に意識することは、大人にとっても簡単なことではありません。それでも、こどもたちが「言葉遣いに気を付けよう」と努力する姿は、確かな成長の証です。1年生は、「～ですか？」という言い回しで質問できるようになりました。4月のアンケート開始から7月にかけて、肯定的な回答の割合は着実に向上しています。2学期も気持ちのよい挨拶を大切にするとともに、相手を思いやる丁寧な言葉遣いができるよう、学校でも引き続き指導して参ります。ご家庭でも、ぜひ「どんな言葉を使っているかな？」「相手が嬉しくなる話し方ってどんなふうかな？」といった会話を設けてみてください。

【1学期の振り返り】

	4月	5月	6月	7月
あいさつを しっかりとしよう	できた 94.5 もう少し 5.5	できた 94.8 もう少し 5.2	できた 96.1 もう少し 3.9	できた 95 もう少し 5
正しい言葉遣い をしよう	できた 69.5 もう少し 30.5	できた 67.9 もう少し 32.1	できた 68 もう少し 32	できた 74.9 もう少し 25.1



親子で挑戦！言葉の言い換えチャレンジ

丁寧な言葉遣いは、「あなたのことを大切に思っています！」という温かいメッセージになります。親子で一緒に、相手の気持ちを想像しながら、素敵な言葉に変換するゲームに挑戦してみませんか？

ミッション1：道を進みたい！友達や物が道をふさいで前に進めないとき、どう伝える？

「じゃまだよ！」を変身させてみよう！

⇒変換例1：「少しよけてもらえるかな？」

変換例2：「後ろを失礼！通ってもいい？」

変換例3：「そこにあると、ちょっと危ないかもしれないよ。」

ミッション2：考えを伝えたい！相手が間違っているとき、どうやって優しく教える？

「バカじゃん」を変身させてみよう！

⇒変換例1：「あれ？もしかしたら、こうかもしれないよ。」

変換例2：「〇〇っていうのはどうかな？」

変換例3：「なるほど！そういう考え方もあるんだね。私はこう思ったよ！」

